

京都大学クリニカルバイオリソースセンターの「COVID-19 に対する新規診断・治療法開発を効率的に実施するための研究基盤構築」研究に参加された被験者の皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、京都大学クリニカルバイオリソースセンターの「COVID-19 に対する新規診断・治療法開発を効率的に実施するための研究基盤構築」研究（R2726）で被験者の方から採取された血液検体の提供を受けて遺伝子解析（ゲノム解析）及びオミックス解析（代謝物及びタンパク質・ペプチドの解析）を行ないます。

対象者に該当する可能性のある方でご自身の血液検体が下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の血液検体が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	COVID-19 の発症・重症化に関連する因子の探索（G1318）
研究の目的	COVID-19 患者のゲノム DNA および血漿中の成分分析を実施し、新たな発症・重症化因子を探索・同定する。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	島津製作所ライフサイエンス研究所 所長 佐藤孝明（予定）
研究期間	2026 年 2 月 28 日まで（予定）
利用する試料・情報の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DNA 検体及びそれを解析して得られる全ゲノム情報</li> <li>● 血清・血漿検体及びそれらを解析して得られる代謝物・蛋白質・ペプチド情報</li> </ul>
試料・情報の利用目的・方法	COVID-19 を発症・重症化した被験者のゲノム情報やオミックス情報を解析することにより疾患の発症や重症化に関連する可能性のある遺伝子変異やバイオマーカーを特定する。
他の研究機関への試料・情報の提供	共同研究機関となる予定の島津製作所ライフサイエンス研究所にながはま 0 次コホート健診受診者の血清・血漿を提供して代謝物解析を依頼する予定（現在手続き準備中）。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
研究資金及び利益相反	<p>京都大学では公的機関だけでなく一般の企業や財団からも研究資金等の提供を受けて臨床研究を実施している。また、本学では社会貢献活動の一環として兼業等の活動が認められており、臨床研究に関係する企業・財団との間に個人的な利害関係が生じている研究者もいる。本研究は京都大学の運営費交付金により実施するが、現在手続き準備中の京都大学と島津製作所ライフサイエンス研究所との共同研究契約が締結された場合には同契約に基づいて同社より提供される共同研究費も本研究の研究資金となる予定である。</p> <p>本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査を行なっている。</p>

問い合わせ・苦情等の連絡  
窓口（右記のいずれかにご  
連絡ください）

- 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦  
電話：075-751-4157
- 京都大学医学部附属病院 相談支援センター  
電話：075-751-4748  
E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp